

【オリコンサルら 南紀白浜空港公園内ビジネス拠点 BELSで最高評価 ニアリーZEBも取得】

南紀白浜空港公園内ビジネス拠点

**BELSで最高評価**

**ニアリーZEBも取得**

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツと浅川組が共同で和歌山県白浜町の南紀白浜空港展望広場（空港公園）内に整備・運営する、ビジネス拠点「Office Cloud9」が、BELS（建築物省エネルギー



性能表示制度）の最高評価である五つ星と同時にNearly ZEB（ネット・ゼロ

ロ・エネルギー・ビル）の認証を取得した。

同施設は、和歌山県の事業者公募に採択され、企業誘致とワーケーションの促進、空港利用者の利便性向上などを目的に整備、2022年10月に開業した。コワーキングスペースと賃貸オフィスで構成し、地域材である「紀州材」を活用した木造建築で、設計はオリエンタルコンサルタンツが担当。シェルターが設計協力、浅川組が施工した。

自然環境に配慮した取り組みとして、高効率の空調設備や高断熱性能の建材を採用するなど56%の省エネに加え、太陽光発電システム導入による25%の創エネを実施。施設全体で81%の1次エネルギー消費量削減を実現した。施設内で使用する電力は自家消費に加え、不足する電気も再生エネ100%となっており、施設でのCO<sub>2</sub>排出量ゼロも実現している。

**BELS 最高位を獲得**  
オリコンサルら、和歌山  
・白浜町のビジネス拠点  
オリエンタルコンサルタ



ビジネス拠点の外観（報道発表資料から）

ンツと浅川組（和歌山市、西口伸社長）が運営するビジネス拠点「Office Cloud 9」（和歌山県白浜町）が、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）で最高ランクの星5を獲得した。同時に

Nearly ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の認証も取得した。施設は企業誘致やワーケーションの促進、空港利用者の利便性向上などを目的に2022年10月、南紀白浜空港の隣接地に開業した。コワーキングスペースと賃貸オフィスで構成する。建物は木造で、和歌山の地域産材・紀州材を使用している。

高効率の空調設備や高断熱性能の建材などによる省エネルギー機能を取り入れた。太陽光発電システムの導入による創エネルギーも実施しており、施設全体で81%の1次エネルギー消費量を削減する。BELS評価では60%以上の削減の達成により、最高ランクの星5を獲得した。

省エネと創エネを合わせて75%以上の削減を達成したことから「Nearly ZEB」の認証も取得した。施設内で使用する電力は、自家消費に加えて不足する電気も再エネでまかなう。これにより、施設の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量ゼロを実現する。



【省エネ、創エネで高評価 白浜のビジネス拠点】

# 省エネ、創エネで高評価

## 白浜のビジネス拠点

白浜町才野、南紀白浜空港展望広場(空港公園)内にあるビジネス拠点「Office Cloud 9 (オフィスクラウドナイン)」が、国土交通省が主導する建築物省エネルギー性能表示制度「BELS (ベルス)」で最高評価の「星5」を獲得。その中でもさらに省エネルギー性能に優れた建物として「Nearby ZEB (ニアリーゼブ)」の認証を紀南で初めて取得した。

クラウドナインは、高効率の空調設備や高断熱性能の建材の採用などで56%の省エネ、太陽光発電で25%のエネルギー創出(創エネ)を実現。施設全体で81%のエネルギー(石油、天然ガスなど)消費量を削減している。

60%以上削減したことで「星5」、75%以上削減したことで「ニアリーゼブ」を取得した。

省エネと創エネを合わせた消費量を100%以上削減している「ゼア」は全国で250施設、「ニアリーゼア」は全国で240施設ある(1日現在)。県内ではゼアとニアリーゼアが各

2施設ある。

星の数で5段階で評価する「ベルス」は2014年4月、「ゼア」は16年4月に始まった。いずれも第三者機関が認証している。

クラウドナインは、建設コンサルタント「オリエンタルコンサルタンツ」(東京都)と建設会社「浅川組」(和歌山市)が運営。県の事業者公募に採択され、企業誘致とワーケーションの促進、空港利用者の利便性向上などを目的に昨年10月に開業した。地元「紀州材」を使用した木造建築物で、コワーキングスペース(共有オフィス)や貸貸オフィス7室などがある。

省エネで高評価を得たビジネス拠点「オフィスクラウドナイン」(白浜町で)



今回の認証を受け、施設を運営する両事業者は「引き続き、地域活性化、持続可能な社会と温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けて推進していく」と話している。

**新たにIT企業が入居**  
クラウドナインにIT企業「Respan (リスパン)」(本社・東京、芳井清彦代表取締役)が今月から新たに入居し、11日から操業している。入居し

ている会社はこれで3社となった。

同社は、企業にIT人材を派遣するシステムエンジニアリングサービス(SES)事業やウェアブルシステム開発業務を手がける。地域のIT人材育成を支援する教育サービスも提供している。16年3月29日の設立で、従業員は3月末時点で81人。

同社は、クラウドナインにシステム開発・ワーケーション拠点、和歌山市九番丁の「九番TMGビル」にSES事業拠点を同時に開設した。3年のうちに正社員20人の雇用(地元雇用15人、転入5人)を予定している。

白浜町は「白浜町を選んだ良かったと思っています。いただけるよう全力でサポートしていきたい」と話した。